

# にこ通

令和3年6月 vol.109

あ

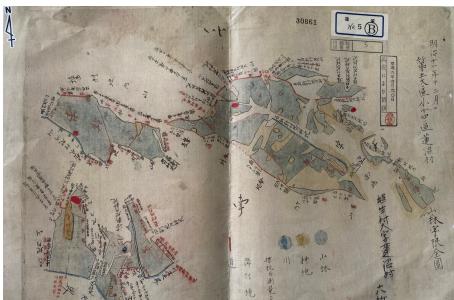
先日、10年ぶり2回目の救急搬送 ××  
前回と同じ尿管結石？ 鈍痛悶絶もん～～  
健康のありがたみを感じました。  
レントゲンによるともうひとつあるんだよな～～；

## 祖母と母をつなぐ旅

(にこ通vol.106で「戸籍はロマン」を書いたところ、「おばあちゃんに会いに行ってくる」、「お墓参りに行ってきた」、「心の栄養をありがとう」など沢山の嬉しい感想をいただきました。金沢に住む母と叔母からも、「読んでたらおばあちゃん(母)のことを思い出して涙が出てきた。(涙)、思い出させてくれてありがとう」ヒラインがさました。

そして、vol.108では、ご先祖様のおかけで物質的に豊かな今がある。現代を生きる僕たちにできることは、失われつつある人の温かさや心の豊かさを次の代に残すこと、と書きました。そのためにはまずは自分が心豊かにならないとな～；先日、実家に寄った時、母がボソッとつぶやきました。「子どもの頃、おばあちゃんに連れられて行ったり富山の石動の方のお墓、おばあちゃんが小さい頃に住んでた場所、もう1回見てみたいなあ」とおねだり行くしかない!! 後はどうやってその地を見つけるか…

戸籍調査や土地に詳しい行政書士さんに聞き、富山県砺波市の法務局へ。窓口の年配の男性、とても親切な方でした。奥の書庫へ何度も行き来て出てきたのがこちら。



和紙の公図です。こんなのは初めて見ました。  
ん～、さっぱり分かりません～；  
「これは当時の地図なんですよ。この後、土地の区画整理を行ったために、換地処分がおこなわれていって…  
つまり、現在の住宅地図の道路や家とは全く違うんです」

宝探しのようで、ワクワクしてきた僕は母に電話。

「近くに自印なかった？ 11ヒガ山ヒガ神社とか？」

「お母さんが小学校低学年の頃やいね～、全然覚えてないケンけど… そんな遠くないところに山があったかも…」

これだけじゃちょっと難しいよな～、65年も前のことだから仕方ないが。。。と思いつながらも。

先日、近くまで行ったので蓮沼地区に車を走らせてみると… エゾアガヒくんに似くない。  
昔ながらの家が点在している。墓地もある。もしやこの辺り…？

祖母が子供の頃、住んでいた場所に近づいてきた予感。

ここまでしたら、母の記憶の中にある原風景をもう一度見せてあげたいですね。

今日は6/29。明日、母と叔母と65年前の記憶をたどる旅に出ます。

家系図シリーズ、次号最終回。結末やいかに～～